

# 全国草原再生ネットワーク

## ニュースレター

vol.1 (2010, Jan.)

### ごあいさつ

全国草原再生ネットワーク会長 高橋佳孝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。広い草原を太陽が昇る光景はいつ見ても心洗われるものがあります。草原のもつ文化的サービスの一つといってもよいでしょう。

去年は、新型インフルエンザの流行など、年末まで慌ただしい出来事が続きました。草原再生に関するものでは、由布市の野焼き事故、水上町における総会の開催、北広島町での全国草原サミット開催など、大きな出来事やイベントが続き、息つく暇もない多忙な年でした。

由布市の人身事故を知らされたとき、正直、今後の草原再生への逆風になるのではと心を痛めておりました。幸いにも、関係するみなさんの真摯な対応のおかげで、「安全性の確保」と「現実に即さない条例の改正」という前向き

な方向に動き出したことに対して、心より敬意を表したいと思います。また、サミットをはじめとする草原に関わるイベントが、一時のものとして終わってしまうのではなく、草原再生の新たな拡大、発展への礎となっていることは、嬉しいかぎりです。

本年はさらに、草原再生の取り組み支援や情報交換を密にし、これらの前向きな動きを全面的にバックアップしていく所存です。本ネットワークが、少しでも皆様のお役に立つことができれば幸いです。

皆様にはご健康に留意され、これまで以上のご支援、ご協力をたまわりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2010年1月吉日

### 第8回全国草原サミット・シンポジウムが開催されました

第8回全国草原サミット・シンポジウムが、2009年9月26日から28日、広島県山県郡北広島町で開催されました。

27日には、まず、コウノトリの自然再生で注目を集める兵庫県豊岡市の中貝市長による基調講演があり、その後、各地からの取り組みの紹介、3つの分科会が開催されました。それぞれの分科会からの提言が市民からの宣言として報告されました。

28日には草原をもつ6つの市町から首長

が集まり、草原サミットが開催されました。各市町にある草原の特色、山焼きや火入れに際し



て抱えている各市町の工夫や悩みなどが語られました。最後に、それぞれの草原の大切さを確認し、「北広島宣言」が採択されました。

いずれのセッションでも多くの来場者と活発な意見交換がみられ、草原への熱い思いが感じられました。サミット・シンポジウムの詳細については、同封の「広報きたひろしま」をご覧ください。



### 草原をめぐる動き（2010年1月～4月）

1/31 千俵蔭山防火帯作り（長崎県対馬）

2/13～14 野焼き支援ボランティア初心者研修会  
（問い合わせ）阿蘇グリーンストック

2/20～21 同上（第2回）

2/21 秋吉台山焼き（山口県美祿市）

3/13 三瓶山西の原火入れ（島根県大田市）

3/26-28 日本草地学会（三重県津市 三重大学）  
草原保全のシンポジウムが予定されています

4/3 千町原火入れ（広島県山県郡北広島町）

4/10 雲月山山焼き（広島県山県郡北広島町）

※上記以外の情報については、ホームページをご覧ください。ホームページに掲載するイベント情報もお待ちしております。

### 事務局からのお知らせ

昨秋から、事務局が下記に移りました。また、ネットワークの活動を充実させるために、事務

局で下記の業務を担うこととなりました。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 会員管理に関すること  
会費納入のお願い など
2. 事業や会計管理に関すること  
各種事業の進捗状況の報告 など
3. 総会・理事会の開催に関すること  
日程や会場の調整 など
4. 会員への連絡・情報交換  
議事録などのHPへのアップ  
ニュースレターの発行 など
5. 各種問い合わせへの対応

#### 【ニュースレターについて】

情報交換のため、定期的にニュースレターを発行することとしました。当面は年に4回の発行を目指しています。活動紹介の原稿依頼などをお願いすることがあるかと思えます。ご協力をお願いいたします。

#### 【会費納入のお願い】

21年度会費の納入をお願いいたします。すでに納入された方は重複をお許し下さい。

全国草原再生ネットワーク ニュースレター vol.1 2010年1月号

全国草原再生ネットワーク事務局

694-0064 島根県大田市大田町大田イ376-1

NPO 法人緑と水の連絡会議内 電話:0854-82-2727 FAX 0854-84-0262